

祝辞

農林水産大臣

吉川 貴盛



日本獣医師会が創立70周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

昭和23年の設立以来、貴会は、様々な動物の保健衛生の向上及び畜産業の発展に資する活動に取り組んで来られました。平成24年に公益社団法人となってからも、我が国唯一の獣医師の中核団体として引き続きその役割を果たされており、深く感謝の意を表する次第であります。

この10年間の大きな出来事としては、平成22年の宮崎県での口蹄疫の発生が挙げられます。地元のみならず全国の獣医師の皆さんの必死の防疫作業のおかげで終息を見ることができましたが、貴会も民間獣医師の支援要員を派遣する等重要な役割を担われました。東日本大震災等、頻発する自然災害に際しては、被災ペットの救護等、小動物の獣医療分野についても積極的に取り組んでいただきました。

家畜衛生関係では、本年9月に国内では26年ぶりに豚コレラが発生したほか、アジアで初めて確認されたアフリカ豚コレラが中国でまん延し、我が国への侵入リスクが高まっています。農場における衛生管理を徹底するためには、獣医師の皆さんの日頃の指導が不可欠であり、引き続きご協力をお願いします。

今日の獣医療を取り巻く状況としては、薬剤耐性対策という新たな課題があります。平成28年には福岡県北九州市で世界獣医師会と世界医師会による国際会議が開催され、貴会の尽力のもと、獣医師と医師の協力強化に向けた「福岡宣言」が採択されたところです。

また、産業動物獣医師の地域偏在、人材の確保・育成という課題もあります。このため、次期「獣医療を提供する体制の整備を図るための基本方針」の策定に向けて検討を開始したところであり、農林水産省としても適切に対処してまいり所存です。

結びに、日本獣医師会が創立70周年を契機といたしまして、獣医師の皆さんの固い結束の下で今後更に飛躍を遂げられるとともに、関係者のご健勝とご発展を祈念いたしまして、私の祝辞とさせていただきます。